

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 14 No. 38 TOTAL 600 平成24年5月7日 第618回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30

[例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国

[事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/後和 信英 [会報委員] ○宮本 和彦
副会長/西田美恵子 ○南方 孝一 田邊 和喜
幹事/小形みちる 足立 聖子 松本 博



2011-12年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

RI会長 カルヤン・バネルジー

Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度
アゼリアロータリーのテーマ

おもろ
『ロータリーの原点を回想』

＜本日の例会＞

- 第618回例会 5月7日(月)
- ☆ 誕生会
- ☆ 外部卓話 「5/21の金環日食について」
和歌山大学 観光学部 地域再生学科
教授 尾久土 正己様

＜次回のお知らせ＞

- 第619回例会 5月14日(月)
- ☆ 外部卓話
「和歌山市に何故コミュニティ放送が必要か?」
NPO法人 FM和歌山
理事長 山口 昭昌様

＜前回の例会記録＞

- ロータリーソング おぼろ月夜
- ゲスト紹介 ㈱MANPA 代表取締役社長 坂口宗徳様
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数35名 内出席免除2名
本日の出席(4/23) 30/35名 85.71%
前々回修正出席(4/9) 31/35名 88.57%
- メイキャップ 役員及びクラブ行事へ 2名

＜四つのテスト＞

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	5月7日(月)	休会
和歌山	5月8日(火)	卓話「つくる、つかう、つなぐ」
和歌山サンライズ	5月8日(火)	
和歌山東南	5月9日(水)	外部卓話「今だから話せる大塚国際美術館創設の裏話」 (西洋美術に観る生、病、老、死の世界)
和歌山西	5月9日(水)	地区協議会報告
和歌山東	5月10日(木)	休会
和歌山城南	5月10日(木)	会員卓話「新会員自己紹介」
和歌山南	5月11日(金)	
和歌山中	5月11日(金)	卓話「響き合う日米文化と笛の音」

● 会長報告



会長 後和信英

皆様こんにちは。本日もご出席ありがとうございます。

和歌浦温泉 ㈱MANPA 代表取締役社長 坂口 宗徳様、ようこそお越しくださいました。

後ほど、「和歌浦の活性化について」の卓話、どうぞよろしくお願い致します。

さて、後ほど社会奉仕委員会から報告がありますが、今週 4月27日(金) JR和歌山駅前街頭募金を行いますのでご参加よろしくお祈りします。

昨今、電力不足が、取りざたされていますが、原発マネーに関する事をお話いたします。

新潟の柏崎刈羽原子力発電所がある、柏崎市は全国で最も多い原発マネー(3000億円?)を受け取っていますが、現在500億円もの赤字を抱えているらしいのです。原発の交付金で博物館などの箱物を作り、その維持費によって赤字が膨らんでいるとのこと。現在、柏崎刈羽原子力発電所は停止していますが、このような理由から、柏崎市も原発の安全性が100%担保されなくても、再稼働に動く可能性は、当然高くなってくると思います。

何か寂しい気がいたしますが、皆様は、どうでしょうか?

以上会長報告といたします。

● 幹事報告



幹事 小形みちる

こんにちは。本日のゲストの萬波の坂口様、ようこそお越し頂きました。私くしが、数十年前の初デートの場所が和歌浦で、食事もちろん萬波でした。この後の卓話よろしくお祈り致します。報告ですが、最終月ですので、ワンワン募金を回させていただきます。ボックスに旭学園訪問の案内を入れておりますので出欠のお返事をよろしくお願い致します。

以上です。

委員会報告

◎社会奉仕委員会

白神修次会員



今週金曜日、4月27日 4:30~5:30に東日本大震災の募金活動をJR和歌山駅近鉄百貨店前で行います。雨天決行ですので、たくさんの方のご参加を再度お願い申し上げます。

◎外部卓話

『0円で出来る！和歌の浦の活性化について』



和歌の浦温泉 萬波 (株)MANPA
代表取締役社長 坂口宗徳様

和歌山アゼリアロータリークラブの皆様、はじめまして。和歌の浦で旅館業を営んでおります坂口宗徳と

申します。昭和49年生まれ。今年38歳になります。会員の皆様の中には、私の祖父や祖母、また父がお付き合いさせて頂いておられる方がいらっしゃる事と存じ上げております。いつもお世話になっております事を感謝申し上げます。また平素は、和歌の浦温泉 萬波・漁火の宿シーサイド観潮をご利用、ご愛顧頂いております事を、この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、今回は『和歌の浦の活性化』についてお話させて頂ける機会を頂戴致しました。諸先輩方に対しまして、恐縮ですがお付き合い頂ければ幸いです。「和歌の浦」という地域は、和歌浦、田野、雑賀崎地区の総称です。ですので、観光地域としては、「わかうら」ではなく「わかものうら」と「の」を入れて呼ばれています。祖父から伝え聞く、和歌の浦の全盛期は新婚旅行のメッカとして賑わったようです。また「関西の奥座敷」と称され、多くの観光客が訪れていたそうです。お客様同士が肩と肩がぶつかり合い、しょっちゅうケンカが起こった程と聞いています。昭和初期の話です。時代の変化と共に、交通手段や道路網が整備され、近年では日本国内のみならず、海外にも気軽に旅行できる時代となりました。観光客で賑う事が「活性」というのであれば、和歌の浦の活性化は無理です。そして、そのような観光地は東京ディズニーランドを除いては、日本国内に存在しないと思います。

では、「活性化」とはどのような事を意味するのでしょうか。私は「自慢できる町」、「元気のある地域」を活性している地域や町と考えています。私の考える「活性化」は0円で実現可能です。それは、「前向き言葉を発する。」と言う事です。和歌山県民(市民)の特性として「おくゆかしさ」と言いますか、「恥

ずかしがり屋さん」の一面があります。「自慢しない美学。」これが、和歌の浦のみならず、ぶらくり丁や和歌山市、和歌山県全体を衰退させている原因と考えます。例えば、「和歌浦もさびれたよなあ。」「ぶらくり丁なんか人歩いてないでえ。」と、最近行ってもいないのに挨拶言葉の様に地域をけなします。また「和歌山城なんか誰も行けへんでえ。」「〇〇のお店なんか、観光客しか行かん。地元の人には誰も行かん。」など、せっかくの誘客資源さえも否定する声を聞いたりもします。これでは、「元気のある町」にはなりません。「和歌の浦の景色は最高やで。」「和歌山城の天守閣登ったら和歌山の町が360度見えるよ。」「〇〇のお店で、ご飯食べてみて。あそこの〇〇って料理、美味しいよ！」と自慢して下さい。まったくの無料。0円で沢山のお客様が和歌山に訪れてくれます。口コミ効果です。誰も並んでいない飲食店より、行列のできているお店に行きたいですよね？「和歌山ってどう？」って聞かれた時は「最高やで!」「観光客で一杯やで。」と答えてみて下さい。これだけで、印象は全然違います。(実際、和歌山をご自身の会社に置き換えても効果的です。「最近どう?」と聞かれたら、「メチャ忙しいで!」と答えましょう。)

0円でできる活性化。私達、県民・市民ひとりひとりが、行動に移す事で、元気な町。自慢できる町。活気ある和歌山を実現できます。褒める事。自慢する事。『脱!和歌山人特性』で『活性化』の実現です!

◎S・A・A報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

(株)MANPA 坂口宗徳様より 本日の卓話の謝礼をニコニコ箱にご寄付頂きました。ありがとうございます。

掛下吉三会員 先週お休みさせていただきましたが、4月15日、日曜日にもかかわらず次年度の為の地区協議会ご出席の皆様、ご苦労様でした。

栗山 久会員 山々に淡い緑の若葉映え 新生のきざしを感じる感性豊かなアル中より。本日は、坂口さんよろしくお願ひ致します。

後和信英会員 萬波の坂口社長様、ようこそお越しいただきました。本日の卓話、どうぞよろしくお願ひ致します。

小形みちる会員 本日は、坂口様ようこそおいで頂きました。この後の卓話楽しみにしております。

本日合計額 21,000円 今年度累計額 1,096,000円

*ロータリー財団

掛下吉三会員 本日合計額 4,000円

*米山奨学

掛下吉三会員 本日合計額 4,000円